



そのさき！！ とのさき通信！！

大好き みやぎ

「討議資料」

発行 // 宮城県議会議員 **とのさき 浩子** (泉区選出) 〒981-3203 仙台市泉区高森 7-33-7

<http://daisukimiyagi.com>
hiroko4783@yahoo.co.jp

とのさき浩子 検索



新年を迎え、皆様如何お過ごしでしょうか？
 コロナ色で過ぎてしまっ = 2020年でし = 2021年、
 この年が未来に向けて明るく希望にあふれた一年と
 なりますように心から祈り申し上げます。
 どんなことでも結構です何かあればお知らせ下さい。
外崎 浩子

新型コロナウイルス感染症関連

健康相談窓口コールセンター (022) 211-3883 (022) 211-2882 24時間受付

新型コロナウイルス感染拡大で不安等を感じていらっしゃる方 はあとライン (022) 265-2229

収入が減少し生活に困窮する方 **緊急小口資金等の特例貸付** 所得が減り続けている場合返済が免除される
 お金 (住民税非課税世帯の方) 最大 **140万円** 借りることができます。

詳細借り方は、「厚生労働省 生活福祉資金の特例貸付」でご検索ください。

中小企業の方 **持続化給付金/家賃支援給付金の申請期限を2/15まで延長**

売上が前年度比で50%以下の事業者の方向け支援。(家賃支援は連続3ヶ月合計で前年比70%以下でも可)
 事業資金 **200万円** (最大額) 家賃支援 **600万円** (最大額) もらうことができます。

詳細もらい方は「持続化給付金/家賃支援給付金 延長」でご検索ください。



ステイホームで
簡単ストレッチ！！



児童虐待防止～街頭活動～

毎月、月と日が重なる日を定例とし、宮城県連女性局児童虐待防止の街頭活動を行っております。

足を止め、耳を傾けて頂いた多くの市民の皆さま
 ありがとうございます。見かけた際は是非
 お声掛けください。今後も引き続き
 児童虐待防止のため活動してまいります。



LINE LINE スタンプ
近日公開！！

イラストレーターの牧野純子さんデザインのすっきりおなじみになっているこけしちゃんがLINE スタンプになります！！
 現在準備中です。みなさん
 楽しみにお待ちください。



外崎 浩子(とのさき ひろこ)プロフィール

昭和35年6月24日生。出身/大崎市三本木(旧志田郡三本木町)
 平成17年10月仙台市泉区より宮城県議会議員初当選。4期目当選。環境福祉委員会、地域再生・活性化対策調査特別委員会 副委員長、自由民主党宮城県支部連合会 女性局長。

『花咲会』はなさきかい
 とのさき浩子後援会にご入会を
 お待ちいたしております。



一年目は議会運営委員長の職を預かり一般質問ができなかったため、今期二年目で初めての一般質問をさせていただきました。<https://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/shitumon37601.html>

(詳細についてはこちらにアクセスし、ご覧ください。)

I 宮城県美術館の今後について

- 美術館のあり方をめぐっては県民運動ともいえる広がりを見せたが、その一翼を担ってきた民間団体との連携強化や、対話の場を継続的に設ける可能性についてはどうか？→

「宮城県美術館協議会」、「宮城県美術館協力会」など既存の団体と連携し、現在も会報の発行や広報物のなどを行っているがさらに連携を強めていきたい。

II 宮城の女性と子ども達の課題について

- 他県では職員の不妊治療休暇制度を導入し、申告によって治療のため一年間の休暇取得が可能である。宮城県においてはどうか？→

職員団体との交渉においても休暇制度の早期新設について要望がだされている。他県の状況も確認しながら早期の特別休暇制度導入に向けて前向きにとり組む。

- 県としての少子化の一員である未婚化・晩婚化への対応についてはどうか？→

平成 28 年度から「みやぎ青年婚活サポートセンター」を設置しているが AI を活用したマッチングシステムなど先進的な取り組みも着手する。

- 地域学校協働活動の現状についてはどうか？→

コーディネーターなどの人材育成を進めるとともに県教育委員会として県内すべての公立小中学校「地域学校協働本部」を整備し活動に関わる地域住民の参画を広げ、社会全体で子どもを守り育てる環境作りに努めていく。

- 児童相談所の人材育成についてはどうか？→

児童相談所に勤務する児童福祉棟の処遇改善を図るため、社会福祉業務手当を増額する。業務が複雑、困難化しており計画的に職員の配置、育成に努める。

- 児童相談所の業務の一つである養子縁組に関する相談支援体制についてはどうか？→

特別養子縁組の成立要件が法改正で国において緩和されたので今後、制度の利用促進に努めていく。

- 新型コロナウイルス対策下における妊産婦に対しての寄り添った支援体制についてはどうか？→

不安を抱える妊産婦に対して電話での相談ができるように宮城県助産師会と連携し、開設している。新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対しては希望に応じて、助産師や保健師等が相談にあたり、健康管理や育児に対する助言ができる体制を整備する。

- 里帰りができない妊産婦に対しての相談体制はどうか？→

4 市町から現在オンラインによつての保健指導の申請をうけており地域の実情を踏まえながら積極的に活用されるよう促していく。

- 学校等欠席者・感染症情報システムと統合型校務支援システムとの連携、活用についてはどうか？→

国において来年度予算の概算要求に盛り込んでおり、県教育委員会として事業についての情報収集に努める。

III 世界に貢献、地元還元

- これまでの企業誘致活動に加えてオンラインも積極的に活用し、東北大学やジェット口ともしっかりと協力しながら、コロナ禍にあっても東北大学の研究シーズなど宮城県の良さを発信していく。

他会派とも連携をはかり国に対する意見書を提出しました

- ・ 女子差別撤廃条約選択議定書の締結に向けた検討の推進を求める意見書 (R2.12/14)
- ・ 不妊治療への公的医療保険の適用の拡大を求める意見書 (R2.12/14) 他。